

山陰近畿自動車道の整備推進に関する  
要望書

令和7年11月18日

山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会

# 要　望　書

三府県の日本海沿岸地域において、近年開通した高規格道路沿線では、企業進出の活発化や観光客数の増加など目に見えるストック効果が発現されている。

高規格道路網の空白区間である当地域における地方創生の基盤として、内在する魅力ある資源を最大限活用し、地域を発展させるためにも、山陰海岸ジオパーク地域内を東西につなぐ山陰近畿自動車道の整備が不可欠である。また、太平洋側の国土軸と同様に国土の発展に資する日本海国土軸を形成する幹線道路でもあり、平常時はもとより、激甚化する風水害や切迫する南海トラフ地震等への対策として、日本海側が人流・物流の代替路となることは言うまでもない。また、現道沿いで落石等が発生した場合には、国道178号が全面通行止めとなり、広域迂回が必要になるなど、地域の経済活動等は大打撃を受けることから、現道とのダブルネットワークを形成する山陰近畿自動車道の早期整備を図る必要がある。

令和5年3月には、「岩美道路」(5.7km)が全線供用し、日本海側のミッシングリンク解消に向けて着実に整備が進みつつあるが、山陰近畿自動車道の供用率は未だ4割程度に留まることから、防災・減災、国土強靭化に資する本線のさらなる整備推進に向けて下記事項について強く要望する。

## 記

1. 来年度予算に向けて、事業中区間の早期供用に必要な予算を確保すること。
2. 早期の全線供用に向けて、未事業化区間の早期事業化を図るとともに、調査中区間の調査推進に必要な予算を確保すること。
3. 山陰近畿自動車道と山陰道や北近畿豊岡自動車道、京都縦貫自動車道との道路ネットワークを早期に実現すること。
4. 山陰近畿自動車道をはじめ、必要な路線の整備や老朽化対策などを着実に推進するため、新たな財源の創設を含め、道路関係予算を上積みすること。
5. 国土強靭化5か年加速化対策後も国土強靭化の取組の更なる加速化・深化が図られるよう資材価格・人件費高騰等の影響も踏まえ、高規格道路の整備に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
6. 防災や地方創生などB/Cだけでは測れない効果も踏まえ、交通量の多寡によらない多様な観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築すること。
7. 直轄権限代行による事業の推進や近年激甚化・頻発化する豪雨・豪雪等の大規模自然災害に対する迅速な労務・資機材提供等、地方公共団体への確実な支援に対応するため、地方整備局等の体制を充実・強化すること。

令和7年11月18日

山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会

会長	廣谷直樹
副会長	池田正義
副会長	橋秀太郎

# 山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会役員

会長	鳥取県	直樹	義郎
副会長	京都府	正池	太郎
副会長	兵庫県	秀橋	利泰
幹事長	鳥取県	杏銀	武孝
幹事長	京都府	島中	文田
幹事長	兵庫県	藤島	孝夫
会計監事	鳥取県	谷島	龍司

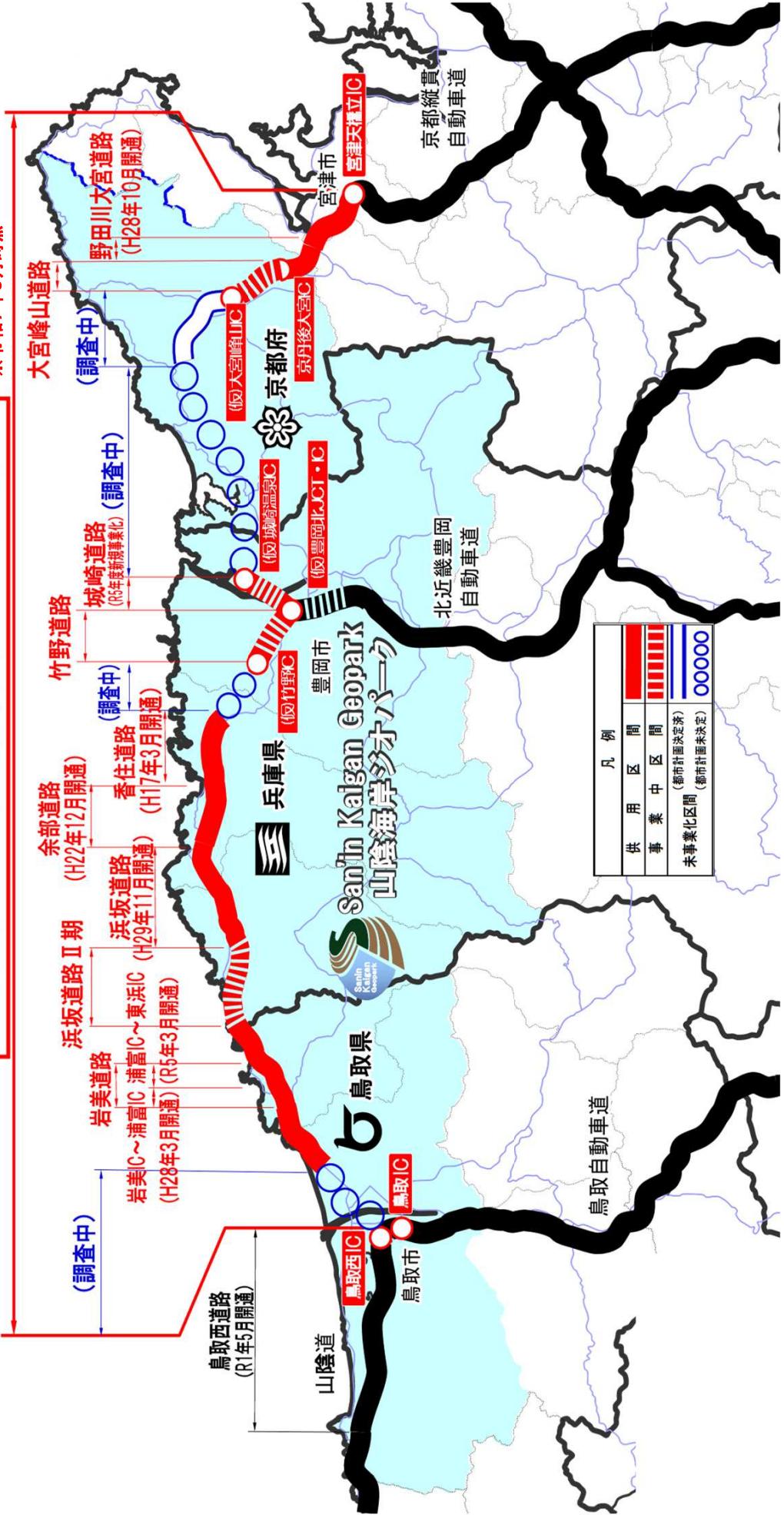
# 山陰近畿自動車道

- 事業中区間の予算確保
- 未事業化区間の早期事業化
- 調査中区間に必要な予算確保

鳥取～宮津間 L=約120km

供用済: 47.6km(40%)、事業中: 24.9km(21%)

※令和7年9月時点



# 山陰海岸ジオパークが近くになり観光客が増加



山陰海岸ジオパーク  
ユネスコ世界ジオパークは国内に  
10地域のみ！

3府県（3市3町）にまたがる山陰海岸ジオパークの発展には、さらなる連携強化が必要。  
山陰近畿自動車道は連携強化の基幹的な社会基盤！



山陰近畿自動車道 L=120km



- 山陰海岸ジオパークには著名な観光地が点在。鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺、城崎温泉、天橋立等の年間観光客数の合計は、1,587万人/年。
- 山陰海岸ジオパークにつながる三府県の高速道路の開通と共に観光客数が増加。